

独 標

西東京市立ひばりが丘中学校

第1学年

第22号

令和5年10月6日発行

〈敬称略〉

川越校外学習で学んだこと

A組

僕が川越校外学習で学んだことは、昔の文化を守り、後世に伝えていくことです。なぜこれが大切だと思ったか理由は二つあります。

一つは川越まつり会館を見学したことです。川越まつり会館では、江戸時代のまつりの歴史や現代でのまつりの様子を表しています。川越まつりでは、山車が使われています。山車は江戸時代の人が使ったとは思えないくらいの技術なので、昔のまつりの文化を守っていけば、幅広いまつりの魅力が伝えられると思いました。

もう一つは観音開きです。観音開きは戸の間のすき間が少なく、現代社会にも使われています。昔の文化を後世に伝えていくと、現代にも生かされることが分かります。他のことも昔の文化を伝えることで、同じようなことができると思いました。

この川越校外学習で学んだことは、昔の文化を後世に伝える大切さです。だから僕は昔の文化の魅力を知り、現代の文化と結びつけることで「どんなところが変わったのか」「こんなところが同じだな」と感じることで、今の日本文化を感じて生活できると思いました。



多くの人が「楽しかった！」だけでなく、積み重ねてきた学習を無駄にしないで、積極的に学ぼうとする姿勢がとても素晴らしいと感じた校外学習でした。

A組担任 豊島



<敬称略>

A組

校外学習を通して学んだこと

私が今回の校外学習を通して学んだことは、三つあります。

一つは、一人一人のけじめです。中学生になって初めての生徒だけの行動を体験しました。私は先生がいない校外学習にわくわくしていたけれど、こういう時にふざけて、校外学習を台無しにはしたくありませんでした。みんな校外学習の時、しっかりとけじめをつけていてよかったです。けじめをつけることで、みんな安全に楽しく過ごすことができました。

もう一つは、協力し合う大切さを学びました。私の班は少しトラブルがあったけれど、班のみんなで協力して乗り越えたり、助け合ったり、そんな場面がたくさんありました。先生がいない、生徒だけの中でも、焦らず冷静に行動する班員の姿を見て、すごいなと思いました。私もこんな風になりたいと思いました。

もうひとつは、自分自身で行動する力を学びました。それを学ばせてくれたのは、班長と副班長です。トラブルがおきても自分で判断し、行動に移す姿勢に感動しました。私は自分で判断するのが苦手で、人任せにしてしまうくせがありますが、班長と副班長を見て、自分も自分自身で行動できる人になりたいと思いました。

私は今回の校外学習で学んだことを日常生活に生かしていきたいです。そして自分自身で判断し、行動することを心がけていきたいです。

